

平成 31 年 3 月、第 17 回「えざわ会」

岩丸純芳（鉦山 S37 年卒）

神田神保町の学士会館は野球発祥記念碑のある旧帝大の会館です。江澤先生は平成 27 年 1 月に 99 歳で逝去されましたが、先生がここの会員であったお蔭でその後もここで花見の季節に「えざわ会」を開催しています。料理は贅沢な洋食のコース料理とビールの外に高級ワインとお酒が出ます。



「えざわ会」の役員は会長の東京練馬区在住首藤君（鉦山 S37 年卒）、会計のさいたま市在住神田君（鉦山 S39 年卒）、幹事の我孫子市在住中村君（鉦山 S39 年卒）の三人が幹事団で、その他の私達数人は自発的な応援団です。

中村幹事は「えざわ会」の開催案内を関東だけでなく松山、広島、大阪、宮城へ、採鉦 25 年卒から土木 44 年卒の方々まで 33 通を出しています。今年は常連のメンバーがこぞって欠席したので幹事の中村君が一人で大奮闘していました。司会者も原則は中村君です。



欠席者の中で八千代市在住宮井君（鉦山 S37 年卒）は夕方の靖国神社参拝とその後の二次会に合流してくれました。

欠席者で文化勲章受章者の四街道市在住白髭君（鉦山 S37 年卒）は前日になって腰痛の欠席届が来ました。

欠席されている我孫子市在住豊田先輩（採鉦 25 年卒）を同じ我孫子市で「平成会」と言う地域活動をしている中村幹事に聞いたところ先輩は足が不自由だがお元気で市内の講演会でトンネルの工法などの話をされていたとの事でした。



「えざわ会」は出席者の自慢話がメインテーマとなっています。今では元気で過ごすだけでも自慢です。

卒年順に話の概要を記憶の範囲で書いて見ますが多少の勘違いと失礼はご容赦下さい。

狛江市在住の常廣先輩（鉦山 S34 年卒）はコンプレッサーの設計技師の経験を基に、技術士、NEDO、大学の先生などをされました。その後は子供達へピアノを教え、今はご自身でのバイオリンの演奏を楽しんでおられます。夕方の皇居千鳥ヶ淵花見散策までは一緒しました。

大阪枚方市から来て頂いた伴先輩（鉦山 S34 年卒）は大学時代の五十嵐先生との交流の話は感動的です。その後は自衛隊に入隊した話も面白いのですが、そこで身につけた技術だけでなく交流関係も活かして土木建設関係の企業に参画して業績向上に貢献し、現在も現役として行動されています。経験豊富で面白い話が次から次と出て来ます。皆さんには話しませんでした。前日の夕食に中村幹事と一緒に呼んで頂きました。

東京練馬区在住の林先輩（鉦山 S36 年卒）は川之江高校から松木先生にお世話頂き松山で下宿したのが陸軍士官学校出の優秀な人物のお宅でそのご主人が「林君、偉くなろうと思うなよ」と言われたのが今に残っていると言う話でした。林先輩は四阪島や小坂などの精錬所を経験され、その後は役員か関連の社長かをされていたと思います。話は全国の観光名所に広がって行ったので時間切れにさせて頂きました。

私岩丸（鉦山 S37 年卒）は宮城県七ヶ浜町在住、この 17 回をすべて出席しているのが自慢です。高橋先生から「畑違いは苦勞するぞ」と言われながら鉄鋼会社に勤め最後の転勤先が宮城県でした。東北の復興は相当に進んでいますが土建工事でその景色は日一日と変化しています。時間を作って是非東北へお出掛け下さい。私は何かと病気の話が多いのですが、ダンス、卓球、最近始めたキーボードのピアノなどです。今回は人数分の楽譜を準備して来たので江澤先生を偲んでハーモニカでアリランなどを合唱しました。

春日部市在住の田中君（鉦山 S38 年卒）はスクワットや腕立て伏せで健康管理を



梁田(土木42) 常廣(鉦34) 伴(鉦34)



林(鉦36) 岩丸(鉦37)



皇居千鳥ヶ淵辺り
藤原(38)
林(36) 梁田(42) 岩丸(37)
常廣(34) 中村(39)

しているそうでピンピンコロリの対策の話がありました。例えば本籍を変えるのも意外に簡単ではないよとの事でした。また、テレビのプレバト(松山の夏井先生や梅沢富美男)を見たので俳句に挑戦したいと思っているそうです。

つくば市在住の藤原君(鉦山 S38 年卒)は26歳の時に陶芸に出会って現在はつくば市に桜窯と言う工房を持ってご子息喜一郎氏と共に陶芸教室や各地での展示会をされています。朝は4時に起きる規則正しい生活だそうです。原料は愛媛から取り寄せているそうです。ヨーロッパなどの海外研修経験も豊富で、開口一番に英語の挨拶がありました。今回の話はキーワードにすると大阪の中華、焼き物人生相談、イラストレーター、水泳2千メートル等と幅広いです。「桜窯、つくば市」で検索して見ましたが、藤原正夫君と喜一郎氏の気品溢れる綺麗な作品が見られます。飲みすぎたと言いながらも千鳥ヶ淵までは一緒に散策しました。

幹事中村君(鉦山 S39 年卒)は開会に先立ち「えざわ会」関係者でここ数年に亡くなった方々を偲んで黙祷をと声を掛け、全員で黙祷をしました。中村君は我孫子市の地域活動「平成会」を豊田先輩と共に取り組んで毎月第2水曜日に活動しており私も講演会を2回ほど聞きに行った事がありますが、どなたでもご参加下さいとの事です。

「えざわ会」の幹事としては開催の案内、予算、土木海洋会への報告、翌年の開催予約などの面倒なサイクルを廻してくれ、只々感謝です。皇居千鳥ヶ淵散策から夕方の靖国神社参拝そして最後の中華食堂二次会まで付き合ってくれました。



成田市在住梁田君(土木 S42 年卒)は千葉県の公務員としての土木技師でしたので土建業界との交流が深く世間が良く見えています。彼も皇居千鳥ヶ淵から靖国神社の桜から中華食堂の二次会まで付き合ってくれ、終わり頃の座の仕切り方は同席した論客の林先輩や宮井君も太刀打ち出来ない腕前を発揮していました。

数年前には 3 次会のカラオケで一緒に上野に

行った事もありましたが、今回は同期の河野、篠原、大門各氏が欠席された事を残念がっていました。

来年の「えざわ会」は令和 2 年 3 月 2 9 日(土)12 時に計画されています。どなたでも歓迎しますので是非ご参加下さい。

